

# 編輯後記

スポーツ危機管理研究所 尾川 翔大

『スポーツ危機管理研究』第5号をお届けします。今年度をもって、スポーツ危機管理研究所はひとまず幕を閉じることになりました。そのため、本誌は最終号になります。

本研究所は2018年4月に誕生しました。スポーツ活動全般をめぐる危機管理上の問題事象（事件、事故、傷害、体罰・ハラスメント、ドーピング等）を研究対象とし、その予防・対応・改善の具体策について探究することを目的としてきました。特に、本研究所を立ち上げるにあたり、中心のかつ大きな力となったのは南部教授の研修会でした。本号にも「研修会報告」として掲載されていますが、こうした先駆的な取り組みは、2013年2月に当時の谷釜了正学長により「反体罰・反暴力宣言」を公表した本学はもとより体育スポーツ現場の指導をよりよくするための責を負う体育スポーツ学にとって重要な財産です。

いっぽう、本研究所は学際的・分野横断的（危機管理学、教育学、健康教育学、社会教育学、救急医学、コーチ学、スポーツ歴史学等）なメンバーで構成されました。したがって、スポーツに特化した危機管理上の問題に対して多角的にアプローチすることができました。実際に本号に掲載されている通りプロジェクト研究のテーマは多様ですし、その成果として本号には2編の研究資料と1編のレポートが掲載されています。大塚らの論文では教職課程履修学生の学校スポーツにおける危機管理意識の特徴が詳らかにされ、佐藤らの論文では小・中学校におけるコロナ前後の傷害が明るみに出されています。また、尾川レポートでは、2019年の緊急公開シンポジウム「Sport In Japan——体育・スポーツの危機と闇に対峙する」に対して人類学の立場からの応答が試みられています。さらに、創刊号から今号までのラインナップは本研究所の射程の一端を表しているように思います。

最後になりますが、本研究所が果たしてきた役割や機能は本学にとって重要であるため、関連の機関で引き継がれることになると思います。どうぞ、引き続きスポーツ危機管理研究を発展させていただければと思います。

## スポーツ危機管理研究 第5号 2022

発行日 2023年3月10日  
発行者 日本体育大学スポーツ危機管理研究所  
〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1  
TEL 03-5706-1054  
制作・印刷 株式会社 図書出版  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-12-8 水道橋ビル3F  
TEL 03-3263-5740